

重点課題

【課題1】 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができる。(B設問1三) (平均正答率14.5%) 目的に応じて、文章の内容の一部を読み取ることができているが、論の展開を捉えて必要な内容を選択し整理して書くことができていない生徒が47.2%。

【課題2】 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことができる。(B設問3三) (平均正答率52.7%) 話の展開を適切に取り上げて書いているが、指定された字数で書いていない生徒が32.7%、無解答と合わせると47.2%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】 論理的に物事をとらえ、論の展開に必要な内容を整理し、取捨選択して適切に用いることができるように指導していく。書くことでは、文章だけではなく、表・グラフなどの非連続的資料も多く取り入れ、比較・批評していく場を多く設定する。

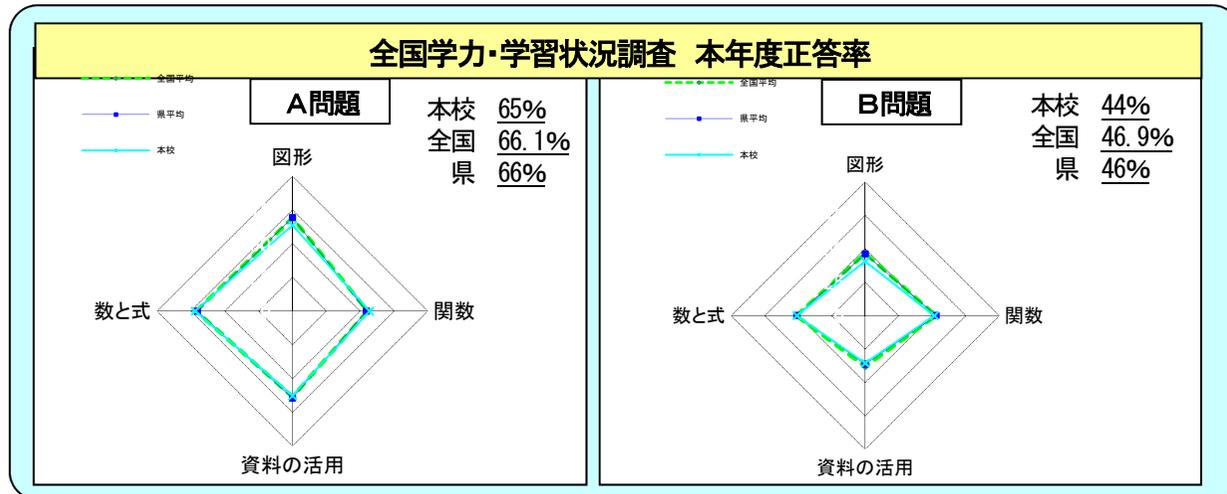
【課題2】 書く場面では、必ず条件を提示し、その中で書いていく習慣を身につけさせる。字数条件に関しては、キーになる語の使い方を指導していきたい。無解答生徒に対しては、正解を求めるのではなく、書くことに対する抵抗感を取り除いていきたい。

※ 小中一貫した取組については、書く目的や意図に応じ、資料から読み取った必要な情報を組み合わせ、主語・述語に気を付け、条件に沿って表現できる力を育てる。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【課題1】							
学年・方法				1・2年生 2学期末テスト			1・2年生 学年末テスト
目標値				55%			65%
実施後数値				43%			55%
【課題2】							
学年・方法				1・2年生 2学期末テスト			1・2年生 学年末テスト
目標値				60%			70%
実施後数値				68%			66%

来年度に向けて

各授業の中で、論理的に物事を捉え、自分の考えを書く場面を設定したが、依然として課題が多く残っている。来年度もこの二つの重点課題を克服できるよう継続した指導を行う。



重点課題

【課題1】 「証明の必要性と意味を理解しているかどうかをみる。」A8の問題において、正答率が38.2%となっており、全国平均45.5%を大きく下回り、証明の意義を理解していないと考えられる。

【課題2】 「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができるかをみる」B5(1)の問題において正答率が9.1%となっており、全国平均16.0%も低い、それも大きく下回っている。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】 相似な図形の単元において、再度既習内容の確認を行い、図形の証明の意義・必要性を理解させていくとともに、課題試験等で類似問題をだして定着を図る。

【課題2】 様々な場面で、与えられた事情を比較したりして結果を導いたり、数学的な結果を事象に即して解釈したりして、更にそれが正しいことを数学的な表現を利用して説明していく機会を増やしていく。

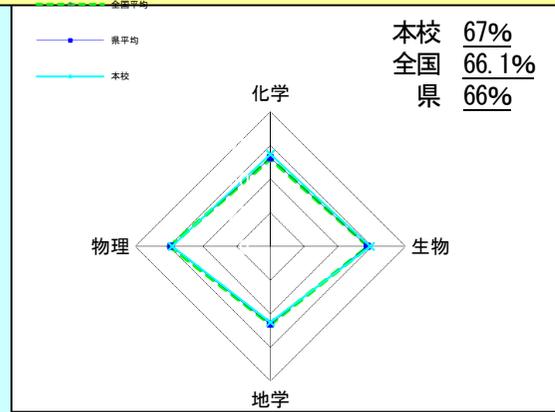
※ 小中一貫した取組については、示された情報を解釈し、算数・数学用語を用いて、図や式を関連付けながら根拠をあげて説明する力を育てる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2・3年生 2学期末テスト			2学年 学年末試験
目標値				50%			60%
実施後数値				45%			58%
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2・3年生 2学期末テスト			2学年 学年末試験
目標値				25%			40%
実施後数値				12%			30%

来年度に向けて

具体的事象を数学的に考察する場面を授業で多く設定したが、依然課題が残っている。スモールステップで思考の過程を捉えやすくするなど、さらに指導を工夫していく。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

- 【課題1】 「発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる。」B8(2)の問題において、全国の正答率が72.0%であるのに対し、本校の正答率は60.0%と、全国の正答率を大きく下回っている。グラフから必要なデータを読み取れていないと考えられる。
- 【課題2】 「植物を入れた容器の中の温度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる。」D9(2)の問題において、本校の正答率は20.0%であり、全国の正答率は上回っているが、低い数値となっている。既習事項を活用し、新たな考えを導く力がついていないのではないかと考えられる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】 授業の中で復習, 振り返りを毎時間行い, 知識の定着を図る。また, 実験結果をグラフも用いながらまとめ, グラフを読み取る力もつけていく。問題演習も行い, 技能の向上を図っていく。
 - 【課題2】 復習や振り返りを毎時間行い, 知識の定着は図っているが, その知識を活用することを授業の中に組み込む必要がある。課題を日常生活に結びつけ, 生徒の課題意識を高めることから始め, 習っていることが普段の生活のどんなところに役立つのか, どんなところに関係しているのかを, 振り返りの書き方を工夫しながら活用力をつけていく。
- ※ 小中一貫した取組については, 既習事項と実験結果を関わらせながら考察し, 理科用語を正しく使って, 説明する力を育てる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 2学期末試験			1・2年生 学年末試験
目標値				63.0%			65.0%
実施後数値				65.0%			70.2%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年生 2学期末試験			1・2年生 学年末試験
目標値				25.0%			30.0%
実施後数値				30.5%			40.3%

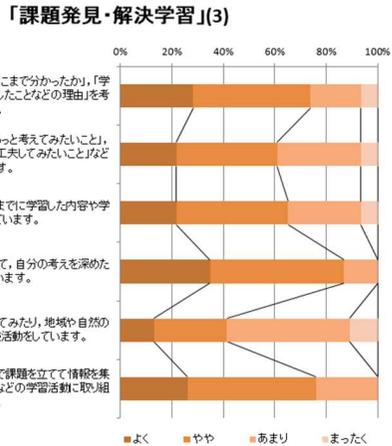
来年度に向けて

実験をするにあたり, どのような目的で実験をするのか, どのような目的でそれぞれの操作をするのかを十分におさえた上で実験に臨むようにする。また, 実験結果を自分でまとめる際, 表やグラフにまとめさせ, グラフを読み取る力も付けていく。

別紙4

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

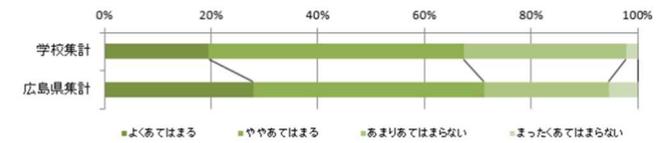
(1) 生活・学習



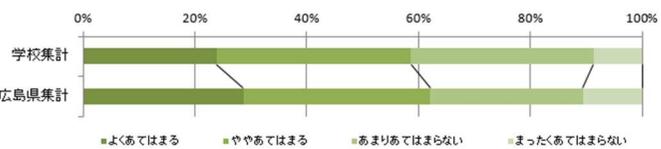
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	「ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。」の肯定的評価が65.2%であった。	授業展開において、既習事項の活用を意識して解決の見直しを持たせるとともに、振り返りの充実を図る。	2	75%以上	学習状況を調査するアンケートを実施する。	2月	80.4%	+15.2
全国	「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いませんか」の肯定的解答が65.4%であった。	課題発見・解決学習の取組の中で、積極的にペア・グループ学習を取り入れ、深い学びにつなげていく。	3	75%以上	学習状況の調査を実施する。	12月	80.7%	+15.3

(2) 教科

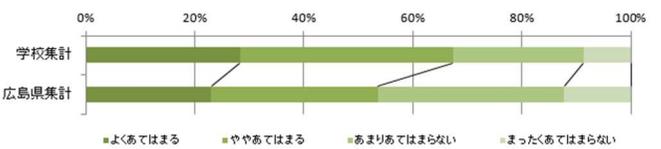
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



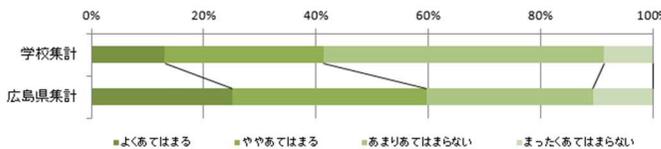
数学の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのかを考えたりしています。



理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 「国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。」の肯定的評価が69.4%となっている。	生徒が様々な資料を読み、その資料に対して自分の考えを話したり、書いたりする活動を積極的に取り入れていく。	2	75%以上	学習状況を調査するアンケートを実施する。	2月	80.4%	+11.0
数学	基礎・基本 「数学の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。」の肯定的評価が58.7%であった。	教材には、日常の事象を基にした課題設定を積極的に行う。単元の終末には、学習した単元の利活用を目的とした課題演習に取り組ませる。	2	75%以上	学習状況を調査するアンケートを実施する。	2月	58.6%	-0.1
	全国 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いませんか。」の肯定的評価が61.8%であった。	実際の例を提示しながら、今の社会で数学の学習内容が役に立っている事実を示しながら、数学の学習の必要性を積極的に授業の中に取り入れていく。	3	75%以上	学習状況を調査するアンケートを実施する。	12月	54.3%	-7.5
理科	基礎・基本 「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」の肯定的評価が67.4%であった。	班で実験結果や考察を交流する場を積極的に取り入れ、全体で発表する場につなげていく。	2	75%以上	学習状況を調査するアンケートを実施する。	2月	60.8%	-6.6
	全国 「理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか。」の肯定的評価が40.0%であった。	班で実験結果や考察を交流する場を積極的に取り入れたり、ペアで教え合う場を設けたりすることで、他の人に説明する力を付けていく。	3	70%以上	学習状況を調査するアンケートを実施する。	12月	57.8%	+17.8
英語	基礎・基本 「英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。」の肯定的な回答が41.3%と低かった。	自己表現の活動を取り入れる中で、英語で伝えることを積極的に取り組ませる。	2	60%以上	学習状況を調査するアンケートを実施する。	2月	58.6%	+17.3